

2003 年 5 月 14 日

職安法・労働者派遣法改正案 衆議院厚生労働委員会で審議

5 月 14 日、衆議院・厚生労働委員会において、職業安定法および労働者派遣法の改正案の審議が行われました。午前中の木村義雄副大臣の口利き疑惑に関する集中審議のあと、午後は 1 時 30 分から 5 時 30 分まで民主党および自由党が、労働者派遣法を中心に質問しました。

民主党は、大島敦議員が紹介予定派遣の期間について、三井わき雄議員が医療分野における労働者派遣について質問。続いて、加藤公一議員が医科および歯科大の医局における医師派遣問題、城島正光議員が総合規制改革会議の委員人選のあり方を追及するとともに、1 年を超える派遣契約期間等について確認しました。

質疑の中で坂口厚生労働大臣は、大島議員からの「紹介予定派遣の派遣期間は 3 ヶ月程度が望ましいのではないか」との質問に対して、「紹介予定派遣に関する派遣期間の目安は 6 か月」と答弁。また、城島議員からの「1 年を超え 3 年までの派遣期間については、派遣先の過半数労働者の代表に通知し意見を聴くとされているが、これでは聴きっぱなしになるおそれがある」との指摘には、「意見を聴く以上は、その意見を尊重して、派遣期間も意見に沿って変えるべき」と答えました。

連合は、地方連合会の政策担当者中心に 45 名で委員会の傍聴行動を実施。午前中の傍聴終了後は、議面に駆けつけた城島正光議員から情勢報告と今後の取り組みに対する決意表明を受けました。

派遣法・職安法の次回の審議は、5 月 16 日に、午前中に参考人からの意見聴取と質疑、午後に野党質疑が行われる予定です。参考人には、連合から龍井葉二・総合労働局長が出席し、意見陳述を行います。